

問 観光物産振興事業の概要は。

答 大分県別府市の百貨店において、松山市以外の中予5市町が連携し、物産展を開催する。

本町の魅力を知ってもらったため参加する。

問 産業まつり「たわわ祭」において、ニーズに対応するようキッチンカーの出店を考えているとのことだが、出店するに当たり条件があるのか。

答 キッチンカーも様々な車両がある。まだ具体的には何も決まっていない。今後詰めていく。

問 松前町観光協会に補助金を計上しているが、設立後、半年以上たっている。なぜ令和5年度からなのか。

答 本格稼働が令和5年度からであるため、令和4年度の補正予算での対応は行わなかった。町の姿勢として、観光協会を応援する考えは変わらない。

問 義農大賞実行委員会の委員報酬は。また、実行委員会を立ち上げていないのに、なぜ予算が計上できるのか。

答 義農大賞実行委員会の委員報酬は。また、実行委員会を立ち上げていないのに、なぜ予算が計上できるのか。

答 実行委員は、自らが賛同して動いて頂くため、謝金は組んでいない。

また、予算も決まっていない段階で、実行委員会を立ち上げることの方が、話が通らないと考え、予算成立後に声かけをさせて頂くこととした。

意見 次回の義農大賞の応募用紙に、「義農大賞を何で知ったのか」という項目を入れることにより、効果検証を正しく行うことができるのでは。

問 町単独の一般町道整備は、計画的かつ公平に進められているのか。

答 地元からの要望があり採択した事業を行っている。その中で同じ地区が重複しないよう調整しながら事業を実施している。

なお、町道西15号線道路測量設計業務は、地元事業とは別に北黒田海岸の整備に併せ、墓地の前の町道を拡幅するもの。

問 江川住宅外壁改修工事費の国庫補助対象及び補助率は。

答 住宅の改修工事には国の補助金対象になる部分と、対象外の

部分があり、ベランダに張っている防鳥ネットなどは対象外である。

今回は、工事費の6割を国補助金の対象と見込んでおり、その2分の1を国費として計上している。

◎教育委員会所管

問 学校給食会に対して緊急支援の助成金を交付するが、次年度以降は。

答 物価上昇が落ち着くまでは、様子を見ながら検討していく。

意見 保護者に負担がかからないよう継続的な予算化に力を入れること。

問 学校生活支援員を7人増員した要因は。

答 対象児童は令和4年度から5人増え100名となった。なお、子どもの状況に応じて対応する支援員数が変わってくる。学校の状況を聞き、先生方の負担軽減を考えた結果である。

問 7人の増員に対し予算額が少ないが、妥当か。

答 また、7人確保できるのか。学校生活支援員の要望を聞き、一人あたりの勤務日数や勤務時間を調整した結果、増員しても予算額は前年度と同水準で問題ない。

現在、ホームページ等に掲載し、7人の確保に努めている。



住環境の改善として改修が望まれる江川住宅外壁